



■桂川小学校が福岡県公立 学校優秀校として表彰

桂川小学校 校長 辻秀志

この表彰は、学校の特色ある教育活動を顕彰することを目的として、平成27年度に県立学校を対象に創設されましたが、市町村立の学校については、今年度から創設されました。

市町村立学校では、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「障害のある児童生徒の自立や社会参加」「信頼される学校づくり」の5つの観点で募集されました。

桂川小学校では、今まで特に取り組んできた「健やかな体の育成」に応募したところ、小学校で唯一の優秀校に選ばれました。

たいへん名誉なことで、今までの先生方や子どもたちが一緒になって体作りを行ってきたことが評価され、嬉しく思います。

今までの様々な体力作りの成果で、子どもたちの体力は

飛躍的に向上しました。全国で行われている「体力テスト」結果では、8種目のほとんどが福岡県平均を上回ることができています。
今後も、子どもたちの健やかな体を育てるために、教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。



▲表彰状を受け取った桂川小学校の辻校長。

【「健やかな体の育成」に関する主な取り組み】

①スポコン広場

福岡県奨励の「スポコン広場」へ登録し、平成23年度からは「校内スポコン大会」を実施。平成26・27年度は、県大会中学年の部で2年連続優勝しました。



②1校1取組のなわとび

全校でなわとびに挑戦。自分で目標を設定し、いろんな技や回数に挑みました。12月3日の土曜授業では、縄跳び名人を呼んで、指導もしていただきました。



③桂トレ5

体育の授業の始まりを5分間サーキット「桂トレ5」として、体作りの時間に充てました。体をほぐすと共に、基礎体力の向上に努めてきました。



■一年間を振り返って

桂川東小学校 校長 西園浩一

【ひとと人のかかわりを大切にできる子ども】

先日、4年生が、校区内にある福祉施設「白藤の苑」を訪問しました。入所者の方から一人ひとりの子どもに、「あなたに会えて元気をもらった」と声をかけていただき、人との出会いや直接のやりとりの大切さを考えさせられたところです。

昨年度から、縦割りで「スポコン広場」に挑戦しています。それぞれのグループで記録更新を目指して6年生を中心に練習してきました。

【がんばり抜く心と体を持った子ども】

マラソン大会や縄跳び大会では、記録更新に向けて練習をがんばりました。土、日曜日に開催したため、多くの方々に参観していただきました。

最後まで全力で取り組んだときの勝ててうれしい気持ちも、負けて悔しい気持ちも大切にしたいものです。

【しっかりと学ぶ子ども】

毎朝のモジュールタイムでは、作文や計算練習など、どの学年もがんばりました。学力調査の結果もここ数年、ぐんぐん伸びています。

また、たくさんの方のグスタブティーチャーの方々に授業に入ってください感謝しています。これから子どもたちが頭を働かせ、しっかりと考える授業づくりを目指していかなければと思います。

